

市政に関する一般質問 12月会議は18名の議員が質問

県道8号船橋我孫子線の南北分断が市内交通に与える影響について

佐藤 剛 議員

○ 県道8号線の直進通行が遮断された場合、船橋我孫子バイパス線の交通量は著しく増加するものと思われませんが、市の見解を伺います。

○ バイパス線は、市の道路交通網において市内中心部や県道8号線の通過交通を排除する目的の計画道路です。現在の県道8号線と比較して幅員が広く、歩道も整備されており、一定の歩行者の安全確保がされています。北千葉道路とバイパス線が計画どおりに供用された場合、今まで県道8号線を通っていた多くの通過交通が、バイパス線を通ることが想定されますが、その時点での新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業や千葉県で改良が検討されている初富交差点など周辺の道路状況を踏まえ、交通状況や沿道利用状況により、必要に応じて

行政手続きでの押印の廃止について

宗川 洋一 議員

○ 市では現在、押印の廃止に向けてどのように取り組んでいるのか伺います。

○ 本年10月に各所属で押印を求めている申請書等がどの程度あるのか、また押印を不要とする可否などについて照会し、現在回答の取りまとめをしているところであります。

○ 行政手続きのデジタル化を含めて行政手続き全般にわたって

犯罪被害者支援について

松澤 武人 議員

○ 犯罪被害者支援における本市の取組について伺います。

○ 警察庁や千葉県警察等が作成した相談窓口案内リーフレットやポスターの掲出、千葉県が実施する研修会へ職員が派遣を行っています。

○ 犯罪被害者支援に関する条例や計画の必要性について見解を伺います。

警察、地域住民などの意見を伺い、対策を講じたいと考えています。

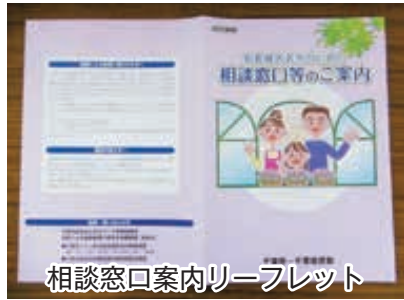


市役所前の県道8号線



リモートワークなど生活様式が多様化する中でも対応出来る体制を整備していく必要があるものと考えています。

としては、各自自治体の動向を注視しながら調査研究していきます。



相談窓口案内リーフレット

鎌ヶ谷市の魅力PRについて

芝田 裕美 議員

○ 鎌ヶ谷市が自然災害に強い街として大手情報紙で首都圏184市区中4位、千葉県1位と掲載されました。地盤が強いことを受けて作成した「ゆれにくい街鎌ヶ谷」のロゴマークを活用して、さらにアピールしてはいいかがですか。

○ 掲載により本市の魅力向上に大きく貢献があったと考えます。引き続きロゴマークを活用した取組について検討し、PRを図りたいと考えています。

○ 平成30年発行の女性誌掲載の出産・子育てにむく街

○ 内閣府が公表している女性管理職の比率では、平成28年度から令和元年度まで4年連続で県内37市中1位です。

○ 令和3年度予算編成について

小易 和彦 議員



「ゆれにくい街鎌ヶ谷」ロゴマーク

令和3年度予算編成について

○ 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、国内外が未曾有の危機に直面している中で、予算編成となりますが、どのような予算をしっかりと上げる決意が伺えます。

○ 新型コロナウイルス感染症の影響による市税等の収入の減少や公債費の償還がピークを迎えることに伴い、今後数年間は経常的な事業に必要となる財源の確保が難しい状況が続くことが想定され、次期総合基本計画の初年度となる令和3年度は、財政的には非常に厳しいスタートになることが予想されます。このため現在と将来に向けた事業を両立していくには、いま一度原点に立ち、最少の経費で最大



住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化について

矢崎 悟 議員

○ 国の令和3年度予算の概算要求には、補助限度額の柔軟化や公募要件の適用除外、対象世帯の拡充など、住宅セーフティネット制度の充実や生活困窮者等への住まい確保・定着支援等は、いわゆる断らない相談支援を具体化するなどの重層的な支援体制整備の実施及び事業実施の準備支援などの予算が盛り込まれています。

○ こうした事業を活用し、コロナ禍の影響を受けて住まいの確保が困難な方や低所得者等の住宅確保要配慮者、災害

小中学校の体育館及び市民体育館のエアコン設置について

針貝 和幸 議員

○ 子どもたちの学習環境の充実、また災害時において避難者の安全確保のためにも小中学校体育館及び市民体育館へのエアコン設置が必要と考えますが、市の認識を伺います。

○ 近年猛暑が長期に及ぶことや、小中学校体育館及び市民体育館が指定避難所となっていることから、空調設備は必要であると認識しています。多額の経費がかかるため現時点で計画に位置づけることは難しい状況です。

発達に不安や心配のある子どもへの支援について

富田 信恵 議員

○ 本市の中核的な療育支援施設であることも発達センターについて伺います。

○ 親子教室などの療育支援事業のほか、保護者や職員に児童の状況に沿った助言や支援を行う保育所等訪問支援、心身の発達に心配のある乳幼児を対象に、基本的動作の個別指導等を行う通所支援、さらに、障害児相談支援事業所

○ 通所支援について、どのような児童が対象になるのか伺います。

○ 未就学の障がい児及び心身の発達に心配のある未就学児を対象とし、利用の際は「障

鎌ヶ谷市在住の外国人について

後関 俊一 議員

○ 外国人住民を対象としたアンケート調査において、どのような意見や要望がありますか。

○ 行政手続きに必要な申請書等が日本語表記で分かりにくい、市や学校からのお知らせ等の漢字にルビを付けてほしい、外国人向けの職業の紹介、日本語指導が必要な子どもたちへの教育環境の充実、外国人と日本人との交流事業の実施など多岐にわたっています。

○ 今後の多文化共生に関する事業展開について、どのように考えていますか。



こども発達センター

○ 日本語の指導補助や外国語講座、交流イベントなどを行うとともに、公的医療保険や福祉、救急等の窓口、子どもの教育等の場面で円滑に対応できるよう、行政文書の多言語化や翻訳機器の整備等に取り組みしていきます。また、意見や要望等を把握するため、定期的にアンケートを実施していきたいと考えています。

時の被災者への対応などの観点から、居住支援の強化に取り組んでいくべきと考えますが、市の見解を伺います。

○ 市では、国が概算要求に盛り込んだ内容や制度改正の動向を注視しつつ、福祉部局と住宅部局のさらなる連携強化を図り、制度の活用や支援体制の構築に向けて調査研究してまいります。